



2022年10月14日

各位

会社名 株式会社 ワコム
 代表者名 代表取締役社長兼 CEO 井出 信孝
 (コード番号 6727【東証プライム】)
 問合せ先 取締役兼 CFO 町田 洋一
 電話 03-5337-6502

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2022年7月29日に公表した2023年3月期の連結業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

2023年3月期 通期連結業績予想の修正 (2022年4月1日から2023年3月31日まで)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	133,000	13,700	15,000	11,200	70.54
今回修正予想 (B)	119,000	6,000	7,900	5,900	37.24
増減額 (B - A)	△14,000	△7,700	△7,100	△5,300	
増減率 (%)	△10.5	△56.2	△47.3	△47.3	
(ご参考) 前期通期実績 (2022年3月期)	108,790	13,024	14,351	10,955	67.98

想定為替レート

[今回改定] 1米ドル=140円、1ユーロ=138円

[前回公表時] 1米ドル=130円、1ユーロ=138円

(通期連結業績予想の修正理由)

通期の連結業績予想については、最近の当社グループを取り巻く事業環境の変化を反映し、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも前回予想を下回る見通しであります。

ブランド製品事業においては、主力のクリエイティブソリューションにおいて、現行のペンタブレット製品、ディスプレイ製品ともに中低価格帯モデルの販売予測を見直し、また製品ポートフォリオ強化の一環として予定していた一部製品の市場投入時期を延期したことから、売上高は11,000百万円前回予想を下回る見通し

であります。これに加え、製品ミックスの悪化及び為替相場がドル高傾向で推移していること等を反映し、セグメント利益は7,300百万円前回予想を下回る見通しであります。

テクノロジーソリューション事業においては、タブレット・ノートPC市場の需要の減退を見込み、売上高は3,000百万円、セグメント利益は400百万円前回予想を下回る見通しであります。

なお、上記のとおり、今回の予想修正にあたり、当期の想定為替レートを一部改定しております。

(その他)

配当予想の修正はありません。

(注) 上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりますので、実際の業績は様々な要因により予想とは異なる可能性があります。

以上